



2021年7月19日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祚
コ ー ド 番 号 2 9 2 9 (東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 管理部部長 新 谷 義 信
T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

2021年7月期通期業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年11月16日に公表いたしました2021年7月期（2020年8月1日から2021年7月31日）の通期連結業績予想につきまして、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

1. 2021年7月期 通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,014	2,088	2,148	1,404	48.34
今回修正予想 (B)	46,135	5,072	5,176	3,313	114.01
増 減 額 (B-A)	6,121	2,984	3,028	1,909	—
増 減 率 (%)	15.3	142.9	141.0	136.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年7月期)	15,353	740	788	690	23.79

2. 修正の理由

機能性素材事業では、ファーマギャバ®の受注が引続き好調に推移いたしました。また、国内OEM事業は、コンビニ向けパウチゼリーやモリンガ入り青汁飲料等の受注が当初想定より増加いたしました。

通信販売事業では、定期顧客件数が引続き高水準に推移していることから、リピート購入が一層進展し、増収をけん引いたしました。

一方、利益創出の構造が変化しております。当第4四半期においても、新規顧客獲得を目的とした「ニューモ®育毛剤」及び「ヘアポーテ® エクラ ボタニカルエアカラーフォーム」への積極的な広告宣伝を継続しております。これら一時的な費用の増加を上回る規模で、リピート購入による利益回収が進んでおり、さらには運賃などの全ての経費の削減にも取り組んだことにより、積極投資と利益創出を両立する構造となりました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が大幅に増加する見通しとなりました。

(注) 本資料における業績予想は、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。